



## ○ 学校説明会

29日(水)に高等学校の先生方をお迎えし、学校説明会を行いました。今年来校されたのは13名でした。この数が多いのか少ないのかという判断は視点によって変わってきそうです。本校の側からみれば来年度の入学生がたくさん来てほしいところですから、少ないという印象はあります。高校の先生方の側からみれば、これまでに参加したことがあるから今年には行かなくてもよいだろうという判断もあります。また、一つの高校から生徒たちが進学・就職する“出口”はたいへん多くの数になりますので、全てに参加することは不可能ですね。3年生担任の先生が5~6人として、一人が3校担当するとしても、20校(社)弱しか参加できません。そのような視点を考慮すると「よく来ていただきました」という気持ちになります。

本校は調理と製菓の学校ですから、まずはお食事会から始めました。今の時代、一般的にはこのような“接待”はしない方がよいのでしょうか、これがないと本校の存在意義がありません。ご賞味いただきましたでしょうか?お世話は調理師科2年コースの2年生がレストランサービス実習の授業の一環として行いました。私が以前に作っていた「箸置き」が今回活用されていたのを見て、個人的に嬉しかったです。

そのあとは校内見学会です。パンを作るところや実技試験の課題でもある「鱈の三枚おろし」の練習風景を見ていただきました。今年は調理師科も製菓衛生師科も定員いっぱいの学生が在籍していますから、迫力(活気)を感じられたことでしょう。



そして階段教室に帰って、学校説明を行いました。私の概要説明の後、来ていただいた高校の出身である学生代表があいさつを行いました。先月私が高校訪問をした際には「元気でやっているのでしょうか?」というようなことばも何回かいただきました。教え子のことは気になるものですね。このあいさつを聞いて高校の先生方も安心されたのではないかと思います。

全ての日程が終わるころには授業が終了する時間になりました。来られている高校の出身学生が皆会場にやってきて、それぞれなごやかにいろいろな話をしていました。まだ1年ちょっとや3ヶ月くらいしか過ぎていませんが、なつかしい思いで盛り上がっていたように思います。

さて今回、私自身にも再会がありました。10年近く前にお世話になった方や、当時教育実習生としてお世話をした方たちです。出会いというものは不思議な縁がかかわっているのだということを改めて実感した日になりました。かつての“実習生”は立派な先生になっていました。

## ○ 自校自賛

説明会では学生を代表してそれぞれの科から1名ずつあいさつを行いました。3人ともメモを見ずにしっかりと自分の意見(割と長めでしたが)を述べる事が出来ました。その姿が頼もしく見えました。



今回の植物 : サカキ(榊)



日本の神道においては神棚や祭壇に供えるなど、神事に使われることが多い植物ですね。